

(様式1-表)

令和8年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	46	豊田市立 衣丘小 学校	代表	中根 章江
------	----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	本物の自然体験活動と人とのふれあい	分野	c	自然体験
		i(その他)は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点（ねらい）	自然が少ない街中で暮らす子どもたちに、自然と本物にふれあう体験をしてほしい、また人との交流を通してあたたかい心の醸成をしたいという強い願いがある。創立以来続けてきた学校のシンボル「みかん」の世話と収穫を軸に、豊田スタジアムの芝生の再利用で始まった校庭の一部芝生化によって、季節を感じて自然とふれあうこと、そして、地域を中心とした多くの人々との交流を進めることで、豊かな人間性を育むことをねらう。			
活動内容・計画	○ 自然と本物にふれあう体験活動 ・ みかんの花から実の収穫までの観察、世話を全校で取り組む。 ・ 学校農園での野菜栽培など、自然と直接的にかかわる体験活動をする。 ・ 道慈小との交流により、山間部の豊かな自然に浸る体験活動をする。 ・ 日常的に自然の変化に気づけるように、ピオトープ「わくわく池」の整備、充実を図る。 ・ 生活科、総合的な学習、理科、道徳科などを中心に、教材に自然体験活動を取り込む。 ・ 校庭の芝生を利用した活動を取り入れ、芝生の上での遊びや交流活動を行う。 ○ 人とふれあう交流活動 ・ オレンジ集会やフレンドリータイムなど、縦割り班活動での異学年交流を行う。 ・ 道慈小への訪問を通して、山間部の子どもたちや地域の方たちとの交流を深める。 ・ 地域の人から学んだり、地域の人とふれ合ったりする活動を行う。 ・ 芝生の散水や草取りなど、ボランティア活動に取り組む。 <年間を通して以下の計画を実施> ・ 地域の人材の掘り起こしと人材バンクの整備をする。 ・ 追究、調べ学習を支える図書及び資料の整備と充実を行う。 ・ 「みかん」を全学年で教材化する。 ・ 「自然」「食」「環境」「命」など、各学年の実態にあった学習テーマの設定と活動を行う。 ・ 人と交流する場を設定する。 ・ 都市と山間の交流活動の内容の充実を図る。			
補助員配置	みかんや芝生の維持管理は、公務手や教員、児童、ボランティアなど多くの手で進めてはいるが、細部にわたった維持管理はできないのが現状である。校内整備員を配置することで、みかんや芝生のきめ細やかな維持管理ができる。そして、校内整備員にみかんや芝生の管理や環境整備を専門的に任せることで、教職員の作業が軽減され、授業や児童の指導などの職務に専念できること、また学習環境が整うことで教育の効果がさらに上がると考える。			
実績・期待される効果	① みかん栽培における施肥、摘果、収穫の世話や芝生の除草、水やり、根切りの世話を通して、自然のすばらしさや不思議さ、厳しさを感 じることができる。 ② 様々な自然体験活動によって、動植物の世話の大変さと工夫を知り、命の尊さや感謝を感じることができる。 ③ みかんを始めとする作物の成長記録をまとめ、自分の活動を振り返ることで、自らの成長も実感することができる。 ④ 本物の自然体験活動を行うことで、心の安定と楽しさを感じ、意欲的に学校生活を送ることができる。 ⑤ 縦割り班や委員会、学年間交流活動などを通して、協力することの大切さと仲間意識を育て、児童同士の絆を強くすることができる。 ⑥ 地域の人と交流の機会を設けることで、学校と保護者・地域との信頼関係を強めることができる。			
検証方法	・ 児童の声や感想、取組や変容から、児童の豊かな情操の伸長をとらえる。 ・ 各活動途中及び終了後、児童・教師の振り返りにより、取組の価値や成果を掌握し、評価改善を図る。 ・ 保護者アンケートの数値評価・自由記述から、意義・効果・課題等を把握し、改善に努める。			